

**製品名: Nox5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14816**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NOX5
別名	NOX5; NADPH oxidase 5
遺伝子 ID	79400.0
SwissProt ID	Q96PH1
免疫原	抗血清はヒト NOX5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 677-726

**背景**

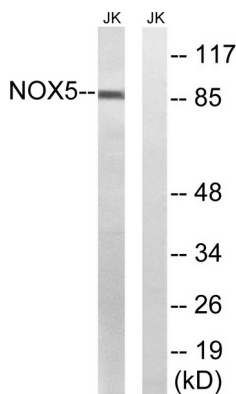
この遺伝子は、主に精巣、脾臓およびリンパ節のリンパ球が豊富な領域で発現しています。この遺伝子は、スーパーオキシドを生成するカルシウム依存性 NADPH オキシダーゼをコードし、リンパ球および精子における酸化還元依存性プロセスを制御する可能性の

あるカルシウム依存性プロトンチャネルとして機能します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2011年10月]、補因子: FAD。、補因子: マグネシウム。、発生段階: 胎児組織で発現。、酵素制御: カルシウムによって活性化され、N末端調節領域とC末端触媒領域間の構造変化と相互作用を引き起こします。ジフェニレンヨードニウムによって阻害されます。、機能: スーパーオキシドを生成するカルシウム依存性 NADPH オキシダーゼ。カルシウム依存性プロトンチャネルとしても機能し、リンパ球および精子における酸化還元依存性プロセスを制御する可能性があります。細胞増殖およびアポトーシスに参与している可能性がある。、誘導: TGFβ1 によってダウンレギュレーションを受ける。、その他: このタンパク質のアイソフォーム 3 および 4 は、4つの機能的なカルシウム結合部位を有する。アイソフォーム 1 および 2 は、3番目の EF ハンドドメインに挿入断片が存在する。、類似性: FAD 結合 FR 型ドメインを1つ含む。、類似性: 鉄酸化還元酵素ドメインを1つ含む。、類似性: EF ハンドドメインを4つ含む。、組織特異性: 主に精巣のパキテン期精母細胞、および脾臓とリンパ節のリンパ球が豊富な領域で発現する。アイソフォーム 3 は脾臓で発現する。アイソフォーム 4 は精巣で発現する。卵巣、胎盤、膵臓、心臓線維芽細胞でも検出される。B 細胞および前立腺悪性細胞でも発現する。、

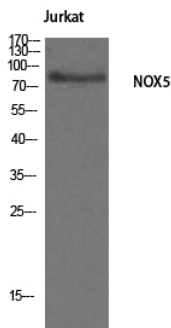
## 研究分野

細胞生物学、その他の抗体、酸化ストレス、代謝、経路とプロセス、酸化還元代謝、酸化ストレス、細胞膜、チャネル、細胞生物学、細胞周期、細胞分化、アポトーシス、細胞内、関連タンパク質、シグナル伝達

## 画像データ



NOX5 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Nox5 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析